

事業群評価調査(平成29年度実施)

基本戦略名	6 産業を支える人材を育て、活かす	事業群主管所属	教育庁義務教育課
施策名	(1) キャリア教育の推進と企業人材の育成	課(室)長名	木村 国広
事業群名	キャリア教育・職業教育の推進	事業群関係課(室)	雇用労働政策課、高校教育課

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>子どもたちが主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、望ましい勤労観や職業観を形成していくことができるよう、各学校種におけるキャリア教育・職業教育の充実を図ります。</p>						<p>(取組項目)</p> <ul style="list-style-type: none">)「夢・憧れ・志」をもった長崎っ子を社会全体で育成するための産学官連携した教育環境の整備)県内就職率向上に向けた取組の推進のために求人開拓等を行う専門員を配置)将来の産業を支える人材の育成 			
指 標		最終目標(H32)	目標(H28)	実績(H28)	達成率	<p>(進捗状況の分析)</p> <p>子どもたちが、「あの人のようになりたい」、「あの人のような生き方がしたい」といった「夢・憧れ・志」を抱くことができる教育環境の整備を産学官が連携して行っている。実績は、昨年度から横ばいの状況にある。</p>			
事業群	夢や憧れがある児童(小学校)及び夢の実現に向けて行動している生徒(中学校)の割合	100%維持	92	79.5	86%				
関連指標									

2. 28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				28年度事業の成果等	中核事業			
			H28実績	一般財源	人件費(参考)		事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標			H28目標	H28実績	達成率
			H29計画	一般財源	人件費(参考)								H29目標		
取組項目	長崎っ子の「夢・憧れ・志」を育む環境整備事業	H25-30	328	328	1,608	公立小・中学校の教員・児童生徒	産学官が連携した「長崎っ子の「夢・憧れ・志」応援会議」を実施し、学校・地域・家庭が一体となって子どもの「夢・憧れ・志」を育むための施策を協議した。	活動指標	フォーラム・講演会の開催回数(回)	1	1	100%	「長崎っ子の「夢・憧れ・志」応援会議」において指定した重点支援地域において、子どもや保護者等を対象とした講演会を実施することにより、子どもの「夢・憧れ・志」の育成に寄与することができた。		
	義務教育課		612	612	1,615			成果指標	夢や憧れがある児童(小学校)及び夢の実現に向けて行動している生徒(中学校)の割合(%)	92	79.5	86%			
取組項目	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業	H28-32	67,066	10,614	7,238	県立学校(高等学校・特別支援学校)の生徒	県外への就職割合が高い工業高校等にキャリアサポートスタッフを配置し、生徒や保護者に対して県内企業の魅力と情報を提供するとともに、学校内での企業説明会、インターシップの支援等を実施することで、県内企業への就職等を支援した。	活動指標	県内企業への訪問回数(回)	3,600	3,013	83%	特に県外への就職割合が高い工業高校等へキャリアサポートスタッフを配置することにより、県内企業の魅力や情報が生徒や保護者に十分伝わり、県内就職内定者の割合が目標を大きく上回った。		
	雇用労働政策課(高校教育課)		72,309	0	8,881			成果指標	H28:配置校における高校生の全就職内定者に対する県内就職内定者の割合(%)	53.4	56.7	106%			
								成果指標	H29:公立高校生の全就職者に対する県内就職者の割合(%)	59.5					

取組項目	産業教育指導費		12,221	12,200	7,640	県立学校(高等学校・特別支援学校)の生徒	企業・研究機関等から講師を招へいし、産業界の変化に対応できる人材の育成等を目指した民間講師招へい事業や、プロジェクト研究活動に対する支援(農業)、技術・技能向上に対する支援(工業)、プレゼンテーション能力等に対する支援(商業)等を実施した。	活動指標	県立学校実施校数(校)	40	42	105%	産業教育民間講師招へい事業の実施校において、「職業について考える機会になった」と答えた生徒の割合は高く、生徒の職業観の醸成に寄与している。	
		高校教育課	14,339	7,154	7,267			成果指標	職業観の育成(%)	95	92	96%		
	進路指導費		1,393	1,393	12,867	県立高校教員	高等学校における進路指導上の諸問題について研究協議を行い、進路指導の一層の改善・充実を図るとともに、進路指導主事の資質の向上を図った。	活動指標	参加者割合(%)	100	99	99%		進路指導主事参加者において、「とても参考になった」「参考になった」と答えた割合が高く、進路指導主事の資質の向上に寄与している。
		高校教育課	1,168	1,168	13,726			成果指標	参加者のアンケートで「参考になった」と答えた割合(%)	95	96	101%		
									95					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

)「夢・憧れ・志」をもった長崎っ子を社会全体で育成するための産学官連携した教育環境の整備

- ・産業界や大学等と連携し、各学区での「職場体験」や「職業人講話」等の取組を支援する産学官連携応援会議や全国で活躍する本県出身者の講演会を開催することで、郷土の魅力ある大人と子どもが出会う機会を確保し、将来の目標に向かって努力する子どもの育成につなげている。
- ・産業界とのつながりを強化し、各地域での具体的支援体制づくりのため、全県的な協力体制を構築していく必要がある。

)県内就職率向上に向けた取組の推進のために求人開拓等を行う専門員を配置

平成28年度は、県外への就職割合が高い工業高校にキャリアサポートスタッフを配置したことにより、工業高校の県内就職割合は前年度より大きく増加(H28:37.4% H29:43.6%)しており、県全体の県内割合も増加した。

)将来の産業を支える人材の育成

- ・民間講師招へい事業に参加した生徒の9割以上が「職業について考える機会になった」と答えていることから、職業観の醸成がなされており、生徒の進路選択に寄与している。しかしながら、派遣される講師の地域を限定していることにより、学校が求める講師の選定に限界がある。
- ・学校の進路指導の中心を担う進路指導主事の研修会において、参加者の9割以上が「参考になった」と答えていることから、教員の資質が向上し、生徒の進路指導に寄与しているが、今後、情報交換の時間の確保や研修会の報告等を実施するなど、さらに内容の反省と分析を繰り返しながら時代に沿った内容にしていく必要がある。

4.29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	長崎っ子の「夢・憧れ・志」を育む環境整備事業	平成29年度においては、特に、これまでかかわりの少なかった産業界とのつながりの強化に向け、商工会や経営者協会と連携しながら取組を進めるとともに、生涯学習課と連携して、県内学校関係者、社会教育委員、学校支援会議関係者、各市町協委会職員等を対象にフォーラムを実施する。		平成30年度は事業の最終年度ということで、キャリア教育・職業教育の充実のために、今後も引き続き社会全体が一体となって取り組む必要性を確認し、産学官が連携して子どもたちの育成に取り組むための環境を整えていく。	現状維持
取組項目	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業	平成29年度においては、キャリアサポートスタッフ25名を併任配置を含めて45校へ配置し、事業効果をあげていく。		引き続き「キャリアサポートスタッフ」の業務内容を充実させるとともに、平成29年度の配置校の効果を分析・検討し、キャリアサポートスタッフと県内就職推進員との連携会議をもとに、効果があがった取り組みについて情報共有の上改善を行い、平成30年度においては、より効率的で効果が高い支援を検討していく。	改善
取組項目	産業教育指導費	企業・研究機関等から講師を招へいし講演を行う民間講師招へい事業等は、就職希望者の職業観の向上に寄与している。平成29年度においては、講師の選定方法の見直し方を検討し、改善を図っていく。		プロジェクト研究活動に対する支援(農業)、技術・技能向上に対する支援(工業)により、本県の高校生が多くの日本一を取得するなど有意義な支援となっているため、今後も取組を継続していく。	現状維持
取組項目	進路指導費	進路指導主事会において、校種別・地域別の情報交換の時間を拡大し、内容の充実を図る。		生徒の進路指導の充実を図るため進路指導主事研修会等を引き続き実施し、特にキャリア教育の充実を目指し内容を改善していく。	現状維持